



2019年10月5日、第2回親子で歩こう萩往還(佐々並塾)を開催しました。参加いただいたのは、6名の子供さん方と11名の保護者、そして毎日新聞記者の18名でした。昨年と違って、今回は佐々並の街おこしの会「どんしんてやろう会」の皆さん、そして「おもてなし茶屋」のスタッフの皆さんとの共催イベントとして実施しました。どうしんてやろう会の林会長、白上、佐久間両副会長、読み聞かせの会の土山さん、そして街歩きのガイドをしていた広さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。また語り部側の参加は、松井会長、津田部会長、柴崎、桑原、伊嶋、田中健、三宅、内田、大久保の皆さんと私。準備段階からのご協力、ありがとうございました。参加者の皆さんからは一様に楽しかったという評価をいただきましたが、アンケート結果については別項でも触れたいと思います。一日を振り返ってみることにします。

1.開会式

定刻の9時半過ぎに、予定通り参加者もスタッフも揃ったところで、萩市佐々並支所に集合し、まずは松井会長に主催者を代表してご挨拶いただきました。続いて「どうしんてやろう会」を代表して白上副委員長からもご挨拶いた

ご挨拶いただいたあと、スケジュール説明、諸注意を連絡して、全員でストレッチ体操を行いました。



2.伝建地区街歩き

9時40分、佐々並のガイド・広さんの案内で、街歩きを開始しました。いつもはさっと過ぎてしまう伝統的建物について詳しい説明が行われ、我々語り部も興味深く拝聴

しました。そのまま御茶屋跡まで進んで、一步奥の小道を「おもてなし茶屋」方向に引き返しました。初めて通る道で意外な佐々並の一面を見ることができました。



おもてなし茶屋まで来て、詳しく説明を受けました。天気は最高で、清々しい気分の中、さらに歩きながら説明を聞きました。重伝健の建物には江戸期、明治期のものだけでなく、大正・昭和期のものも指定されていることを初めて知りました。また、街歩き順路を示す小さな看板にも今回初めて気が付きました。一番驚いたのは、元会津藩白虎隊の生き残り「飯沼定吉」が、4日間ですが、美祢市に送られる前に佐々並に泊まっていたという事実です。彼が滞在したと言う納屋が下の写真の左側建物です。



また、久年地区の萩往還取っ付き辺りの民家は、旅人のために茶菓のサービスをしていたようで、壁に横板がはめ込まれており、開店の際にはこの板が取り払われて店に早変わりしたとの説明も受けました。広さんには、ここまで約1時間かけて佐々並の説明をしていただきました。



3 萩往還ウォーク

ここからは語り部がバトンタッチを受けて千持峠を目指しました。ここからは2班に分け、伊嶋・三宅の1班と内田・大久保の2班に分かれ、それ以外の語り部も自由に参加しました。吹く風も心地よく、快調に出発です。



林に入る前に佐々並の街並みを見ていただきました。そこを過ぎると急に風がひんやりしてきました。



ここから子供たちが示した関心事は、①クリとドングリ ②サワガニ③コオロギ④ヘビの抜け殻⑤イモリ なのでした。まあ、子供たちは「萩往還とは何ぞや」よりもこちらの方が遥かに楽しいのは間違いありません。何か 見つけるたびに彼ら彼女らは立ち止まるものですから、なかなか先に進まないほどでした。



【サワガニを見つけたよ】



【イモリとコオロギ】



【ヘビの抜け殻】 これが一番人気でした。

少し時間がタイトになってきましたので子供たちには、「さあ急ぐよ、でないと、バスに遅れて、またここを引き返すよ」と説明しました。しかし、それに驚いて急ごうと反応してくれたのは保護者のみなのでした。

両側に続く棚田の跡地を抜けて、千持峠が近づいてきました。あともう少しで峠です。



峠到着は11時20分でした。根引のバス停のバス発の時刻は12:09ですから、あと50分。与三原の休憩所ではほんの少し休んだだけで出発としました。そして落合の石橋に到着し、ここでは橋の構造を語り部がじっくり説明。



田圃沿いの快適な道にはススキの穂がちらほら・・・。



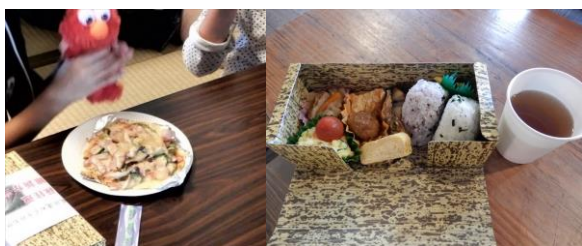
【Photo by Shibasaki】

前方の田圃の畔で柴崎カメラマンがカメラを構えていました。前ページの写真が柴崎カメラマン撮影のものでした。

根引のバス停には 15 分前についてしまったので、そこにある「ハガキの木」の説明をしました。すでにご存じの方もおられて、実際に投函したことがあるとのことでした。

4.食事とミニ講演、紙芝居、クイズ

12:09 発のバスに参加者全員乗車し、語り部は事前配置の 3 台に分乗して予定通り佐々並へと引き返しました。さあ、いよいよお待ちかねの佐々並弁当とピザの昼食です。



食事を終えてから、「おもてなし茶屋」では白上副会長に小林家住宅の話、佐々並の歴史、萩往還の歴史についてお話しいただきました。つづいて、土山さんが読み聞かせる佐々並の民話「弥三郎きつね」の紙芝居の上演です。と言っても本物の紙芝居ではなく、スクリーンにパワーポイントを使って映し出したものです。

次には「萩往還クイズ」を行いました。これは大盛況でした。子供たちが一所懸命答えてくれますが、いずれも

正解者が多くてジャンケンで勝利者を決めました。一番勝ちにはここで売っているクッキーをプレゼントしました。



こうしてケガもなく、無事皆さんをお見送りのしたのは予定よりも少し早い 14:20 のことでした。おもてなし茶屋の皆さんにもご挨拶して 14:30 解散としました。

今回初めてアンケートを実施したので、残りの紙面を使って、その結果を述べておきます。回答いただいたのは、参加者 18 名中 17 名の方でした。ということで、小中学生の回答も含んでいます。以下が主要ポイントで、数字はいずれも%です。

- ・このイベントを知ったツールは、知人を通じて 41.2、チラシ 17.6、市報 11.8 となっており、口コミが有効。
- ・参加の感想としては、とても楽しかった 82.4、楽しかった 11.8 で、ほぼ全員に満足いただけたようです。
- ・何が楽しかったかという問い(重複回答可)には、クイズ 82.4、萩往還 76.5、紙芝居 76.5、街歩き 52.9 などとなっており、その他の項目では、弁当とピザがとても美味しかったと言うコメントが多くありました。
- ・開催時期については今年と同じ秋が良いが 79.5 と圧倒的で、春と夏休みを選んだ方が各 1 名。また約 6 割の方から来年も参加したいと言う回答をいただきました。
- ・自由記入欄には以下のような有難いコメントをいただきました。「皆さんのおもてなしに感謝します」「真心のこもった対応に感動し、忘れられない 1 日となりました」「もっと多くの人に知ってもらいたい企画でした」「素晴らしい内容でした。食事◎」「復路 JR バス利用は良かった」「今回のように子供中心の企画が良いと思います」などの有難いコメントもいただきました。

今年、参加者数は昨年比かなり減少しましたが、参加いただいた皆さんの満足度は決して劣らなかったと思います。これまでの開催経験と今年実施したアンケートデータを生かして、次回の防府市開催に結び付けたいと考えています。参加いただいた語り部の皆さん、大変お疲れさまでした。ありがとうございました。(2019.10.6 古谷記)